

## 令和3年7月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和3年7月21日(水)  
午後1時30分～午後2時27分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室301
- 出席委員 教育長 川村 等  
教育長職務代理者 岡見 文彦  
委員 信樂 哲  
委員 原 キミ  
委員 大槻 啓子  
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 大須賀規幸  
教育委員会事務局次長 君和田浩幸  
教育指導担当参事兼課長 坂上 彰弘  
総務就学課長 久保美由紀  
社会教育課長 吉井 聡  
総務就学課長補佐 平山麻由美  
総務就学課主幹 石毛 千遥

### ○ 議 事

#### 1 議 案

- 公 開 議案第25号 鹿嶋市いじめ問題等対策委員会委員の人事について  
(教育指導課)
- 公 開 議案第26号 令和4年度使用小学校及び中学校教科用図書採択  
について (教育指導課)

#### 2 協議・報告

- ・(仮称)鹿嶋市歴史資料館建設検討委員会委員について

#### 3 その他

- ・オリンピック学校応援事業(学校連携観戦プログラム)について

### ○ 会議録

#### 1 開 会

教育長から開会が宣言された。

#### 2 議事録署名人の氏名

信樂委員が指名された。

### 3 議 案

- 議案第25号  
(教育指導課) 鹿嶋市いじめ問題等対策委員会委員の人事について  
PTA委員の改選に伴い、委員1名を解き、その後任として委員1名を新たに委嘱するもの。
- 【主な質疑・意見等】  
(委員) 令和3年度の委員会は7月21日に開催予定なのか。
- (教育指導課) 委嘱が7月21日となり、委員会は年に1回12月に毎年開催している。
- (委員) 委嘱期間が3月31日までとなっていて、令和4年の例えば4月とか早い時期に何か起きたときは早めて委嘱任命をするということか。
- (教育長) おっしゃる通りである。これはPTAの役員の改選があって、PTAの総会が6月のため、6月の定例会に間に合えば、6月の時点での委嘱任命となる。

※議案第25号については、原案どおり可決された。

- 議案第26号  
(教育指導課) 令和4年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について  
令和4年度に使用する教科用図書及び一般図書を、茨城県第5採択地区教科用図書選定協議会の決定に基づき採択するもの。
- 【主な質疑・意見等】  
(教育長) 社会の教科書は選定をし直す必要はなかったが、新しく検定を通った教科書があるということで、それについての判断を採択地区で行った。いくつかの教科用図書の採択地区で同じように採択のやり直しを行っている。
- (委員) 教育長とともに2回会議に出席したが、特別支援教育の図書は写真等が使われ、非常に興味関心を引き起こすような教材が使われていた。中学校の教科書についてはデジタル教材が追加されたものがあつたが、新たに採用するには内容が不足しており見送りとなった。

※議案第26号については、原案どおり可決された。

### 4 協議・報告

- ・(仮称)鹿嶋市歴史資料館建設検討委員会委員候補(案)について

【主な質疑・意見等】

(委員) 開館はいつ頃考えているか。

(社会教育課) スケジュール的には今年度末までに設計をし、来年度と再来年度の2か年度で建設し、令和6年4月1日に開館予定で進めている。

5 その他

・オリンピック学校応援事業（学校連携観戦プログラム）について

(委員) 各学校に応援国が振り分けてあるようだが、どのように応援国を指定したのか。

(部長) 人数等のバランスをみながら教育委員会で振り分けた。

(委員) そのことに関して保護者から問い合わせはあったか。

(教育指導課) 特にそのような連絡があったと聞いていない。各校趣向を凝らした応援方法を参加する生徒、参加しない生徒、共に協力して作ったということで、それが何校かテレビや新聞に取り上げられた。

(委員) 関係者や引率者などのワクチン接種をできるだけ行うということで、接種状況はどうなっているのか。PCR検査等は特に行わないのか。

(総務就学課) ワクチン接種率は100%ではない。ワクチン接種のキャンセル枠の割り当てをしたときに、学校に該当者の報告を依頼したが、中には接種を希望しないという方もいた。

(部長) 7月16日の段階で教職員の約8割の方が1回目の接種が完了している。PCR検査は実施する予定はない。

(委員) 6月27日にスタジアム現地打合せ、7月9日に担当教職員による現地視察ということで、事前の準備を重ねて行って、感染症対策として、事前のワクチン準備をしていただいているが、その打合せ等の中で手指の消毒はどのような場所で行うのか。

(教育指導課) まず入る前に消毒し、トイレでも実施する。スポーツ

推進課から各学校にスプレーを2本準備して、子どもたちがトイレに行った後に消毒してもらう。また空いているときにトイレの水道や蛇口を消毒するなど、各校にも対応をお願いしている。

(委員) 観戦が学校連携のみと決まった後に、再度人数を確認して、多少キャンセルが出て2,985人の子供たちが参加すると聞いたが、学校連携のみと決まったときに、だったら参加したいという問い合わせがあったと聞いたが、その方たちは行けるのか。

(部長) 7月8日の発表よりも前に人数の確認をしまっている関係で、そうであったら行ったのにという声はたしかにあった。結果として7月8日の発表があって組織委員会にかけあい、チケットが増やせないか協議をしたが、原則無観客で試合を行う、ただし例外として学校連携のみ入場を認めるというスタンスであるため、それ以上チケットを増やせないという返事が返ってきた。そのため、後から参加したいという方々は残念ながら観戦できないという状況になった。

もう一つの問題としてはキャンセルが現在100人近く出ている状況で、その分を使って入場できればいいのではないかという議論があるが、今回の学校連携チケットについては、クラスに何枚という風にチケットが割り振られている。キャンセルがあったチケットを隣のクラスの人に割り当てられるかということ、学校運営上問題がでてきてしまう。学年で整理がつけばまだしも、学年を超えた動きも想定されるため、学校の混乱等を考えた場合に残念ながらその後の希望者については、観戦をお断りした。

(委員) 時間が遅くなってしまうので、鹿嶋市の子どもたちは前半のみの観戦で帰宅するということだが、つくばみらい市の子どもたちは、最後まで観戦するのか。

(部長) 把握していない。

(教育長) 本当は希望を取り直して、チケットの枚数を増やせるのであればそうしたかったが、それが認められなかった。教育委員会で希望を取るときに、もっと早めに学校連携のみ観戦と決まっていればよかったのだが、希望者全員を連れていき、また抽選という風にしてしまうと学校を混乱させるだけなので、希望を取り直すということはしなかった。最終的に観戦するといった子どもたちの動向を確認するにとどめた。本当はやりたかったが、か

なりの数の子どもたちが行きたいとなった時に対応できないので、申し訳なかったが、最初に行きたいという方だけ観戦することとなった。

(委員) 問い合わせは多かったのか。

(教育指導課) 各校3, 4名程度問い合わせがあったと聞いている。

(委員) 改めて希望を取り直したらどうなっていたかはわからない。

(教育指導課) キャンセルの数も各校でばらつきがあったため、調整が難しいという感じではあった。

(委員) この機会に、市をあげて学校応援事業をやるということに大変な意義があるのであって、子どもたちがカシマスタジアムで世界的なアスリートを見たということが胸に刻まれて、生涯忘れることがないのではないか。これが教育的に一番大事なことであって、素晴らしいことだと思う。

この事業をやるなら踏み切った教育委員会を応援したい。

(委員) 豊郷小の子どもたちが韓国のチームを応援するという事で、日本と韓国の関係は国レベルで厳しい状況が続いているが、子どもたちレベルで一緒に応援したり、いい機会を子どもたちに与えることができると感じている。

また女子のアメリカは優勝候補ということで、いい試合が見られるのではないかと考えている。いろいろあるかと思うが、注意しながら進めていただきたい。

(教育長) 豊郷小学校にはKBS(韓国放送公社)が非常にいい取り組みなので、密着取材させてほしいと話があった。他にも、色々なところから反響がある。

(委員) 豊郷小は長年韓国の小学校との交流がもともとあって、以前から交流していたことが、その時に結果が出なくても、もしかしたら子どもたち、先輩方、保護者や地域の方に交流の根が根付いていたり、愛着があったりして、次の機会がいい方向につながっている可能性もあると思う。

今回のことで色々大変なことはあるかと思うが、子どもたちが経験したことが、次の成長につながるような機会になっていただきたいと思います。

子どもたちに財産が残り、安心安全に事業が終了することを願う。

- ・ 日程について
- ・ 通学路の安全点検について

(委員) 6月下旬に八街市で飲酒運転の事故があったが、茨城県でも各市町村において通学路の安全点検を実施して、その後、狭い市道や歩道に新たにガードレールを設置できないかなどの通学路の再確認を進めているということで、教育委員会だけでなく道路主管課とも調整が必要になると思うが、進捗状況はどのようになっているか。

(総務就学課) 事故が起こった翌日に、教育長名で通学路の安全点検を各学校にお願いする文書を出した。その後、国から各学校に危険個所の調査依頼があり、その危険個所を関係機関と一緒に再度点検し、その点検を踏まえて改善策を挙げるようにということで通知が来ている。早速、各学校に夏休み明けまでにそれぞれの地区の危険個所を挙げてもらうようお願いしたところである。それを受け、9月下旬から10月上旬にかけて関係機関と一緒にそれぞれの場所を手分けして点検をする。その後対策をどうするか話し合う予定で準備を進めている。

(委員) 朝通勤時間に見ていると、狭い道まで通勤の車が入ってくることもある。よろしくお願ひしたい。

(委員) 鱒川と谷原の子どもたちが通っている通学路を時間指定で車を通行禁止にしてほしいと鹿嶋警察署に要望しているのだが、なかなか話が進まない。何か起こる前に検討していかななくてはならないと感じている。

## 6 閉 会

教育長から閉会が宣言された。